学校番号	324

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）　　新日本史研究ノート[応用編]（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去から現在にいたる歴史の流れを正しく認識し、現代社会の諸問題を考察することにより、よりよい社会を構築する一助とする。
・国際社会で活躍するために、日本の歴史について必要な知識を持つことで、他国の歴史や異文化を理解し、尊重する姿勢を養う。
・歴史事象を公正かつ客観的・多面的に捉える柔軟な視点や観点を養う。
・歴史を学ぶことで、現在と未来における自身のよりよい選択に活用できるようにする。

２　学習の到達目標

・日本の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切に取り出し、まとめる。
・日本の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、歴史的な見方・考え方を用いて多面的・多角的に考察、表現する。
・日本の歴史の展開に関する諸事象について、より良い国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うともに、日本や他国の伝統や文化を尊重する姿勢を身に着ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり、それらを元に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本の歴史に対する興味、関心、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立	a：旧石器文化・縄文文化・弥生文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 b：小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察し、表現している。 c：黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、農耕社会の特色について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク
	古墳とヤマト政権	・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	a：古墳の特色や推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営、飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 b：中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について考察し、表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古墳文化や推古朝の政治、文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク

	律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	a：東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、諸政策や文化の変容を理解している。 b：律令体制整備の過程を考察したり、蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c：東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク
	貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	a：藤原北家の権力や摂関政治について理解し、地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 b：摂関政治の特色について考察したり、国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 c：平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク

後期	院政と武士の躍進	・院政の始まり ・院政と平氏政権	a：貴族政治や土地制度の変容、平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b：武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c：古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク
	武家政権の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a：幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立や、承久の乱やモンゴル襲来が与えた影響について理解している。 b：幕府と朝廷の二元的支配構造の特色についてや、武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し表現している。 c：鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究したり、宋・元などとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク

	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	a: 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係を理解したり、守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 b: 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 c: 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク
	近世の幕開け	・織豊政権 ・桃山文化	a: 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b: 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性について考察している。 c: 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由や織豊政権の特色など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワーク	・定期考査 ・ワーク	・ワーク ・ノート ・ペアワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度